| 令和元年　９月２６日 | |
|---|---|
| 資　料　提　供 | |
| 担当課 | 県立自然博物館 |
| 担当者 | 学芸課長　平嶋 |
| 電　話 | 073-483-1777 |

# 新種のハゼ！
# アカツキミミズハゼ

2005年に、当時中学生だった中（なか）　澪（れい）氏が当館の行事で発見し、「中学生が未記載種のハゼ発見」と記者発表を行ったハゼが、このたび新種として記載され、アカツキミミズハゼ *Luciogobius yubai* と名付けられました。自然博物館では、このハゼの生体と新種記載に用いられた標本などを展示いたします。

**1. 和　名**　:アカツキミミズハゼ
**2. 学　名**　: *Luciogobius yubai* IKEDA, TAMADA and HIRASHIMA, 2019
**3. 分　類**　:スズキ目　ハゼ科　ミミズハゼ属
**4. 展示物**　:生体１個体　標本３個体　記載論文の写し　等
**5. 採集場所**:和歌山県東牟婁郡串本町潮岬（生体・標本とも）
**6. 採集日**　:生体2019年8月29日
　　標本2005年8月5日ほか
**7. 採集者**　:生体　平嶋健太郎（当館学芸課長）
　　標本　中　澪（当時貴志川中学校）ほか
**8. 大きさ**　:生体　体長約2.5cm　標本　4.4cmほか
**9. 展示場所**:自然博物館玄関ホール
**10. 展示期間**:2019年10月1日（火）～10月31日（木）
　　＊生体の展示は予告なく中止することがあります

アカツキミミズハゼ

**11. 新種記載までの経緯**

このハゼは2005年6月10日、和歌山県東牟婁郡串本町荒船海岸にて、弓場（ゆば）武夫氏（南紀生物同好会）、池田祐二氏（生物学研究所）、玉田一晃氏（日置中学校）、池田博美氏（田辺市在住）によって初めて発見されました。同じ年の8月5日には、当館の行事中に、当時中学生であった中澪氏が発見し、当館で「中学生が発見！未記載種のハゼ」と記者発表いたしました。その後、追加の標本の採取や既知の種との詳細な比較などの研究が行われ、2019年8月20日付けの動物分類学の国際学術雑誌「ZOOTAXA」誌上で新種として発表されました。種小名のyubaiは、発見者である弓場氏にちなんでいます。

**12. アカツキミミズハゼの特徴**

このハゼは、これまで和歌山県と静岡県から、和歌山県内では白浜町、すさみ町、串本町から確認されています。全長2.5～5cm程度で、山からの水などの淡水が染み出す、海岸の石の下などに生息しています。体色は赤褐色から橙色をしており、和名の「アカツキ（暁）」の由来となっています。頭部にはヒゲのように見える皮皺（ひしゅう）があり、胸鰭の上端の軟条は一本が遊離していることなどが特徴です。

〒642-0001　和歌山県海南市船尾370-1
**和歌山県立自然博物館**
TEL: 073－483－1777　https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp
FAX: 073－483－2721　mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp